

薩摩硫黄島

火山活動度レベル

火山活動度レベルは、2 (やや活発な火山活動) でした。

概 況

噴火は観測されませんでした。火山性地震や火山性微動が時々発生するなど火山活動はやや活発でした。

噴煙活動の状況

噴煙は、白色・少量で最高高度は 400m (2 月 : 400m) でした(図 2、図 3)。三島村役場硫黄島出張所によると集落(硫黄岳の西南西約 3 km)への降灰は確認されませんでした。

地震・微動活動の状況

火山性地震は、月発生回数は 136 回(2 月 : 155 回)でした。A 型地震の回数は 1 日あたり 0 ~ 4 回で、月回数は 36 回(2 月 : 23 回)でした(図 2、図 3)。B 型地震の回数は 1 日あたり 0 ~ 8 回で、月回数は 101 回(2 月 : 132 回)でした(図 2、図 3)。また、継続時間の短い火山性微動の回数は 1 日あたり 0 ~ 6 回で、月回数は 14 回(2 月 : 24 回)でした(図 2 ~ 図 4)。火山性連続微動の発生はありませんでした(図 4)。

上空からの観測結果

2 日に海上自衛隊鹿屋航空基地救難飛行隊の協力を得て上空からの観測を実施しました。薩摩硫黄島は、やや活発な火山活動を続けており、観測時の噴煙は白色でごく少量、火口底から約 50 ~ 100m の高さに上がり南方向に流れていました。また、海岸付近には広い範囲で変色域が見られました。この付近の変色域は常時観測されています。薩摩硫黄島の火口周辺及び噴気地帯周辺に大きな変化は見られませんでした(図 5、図 6)。

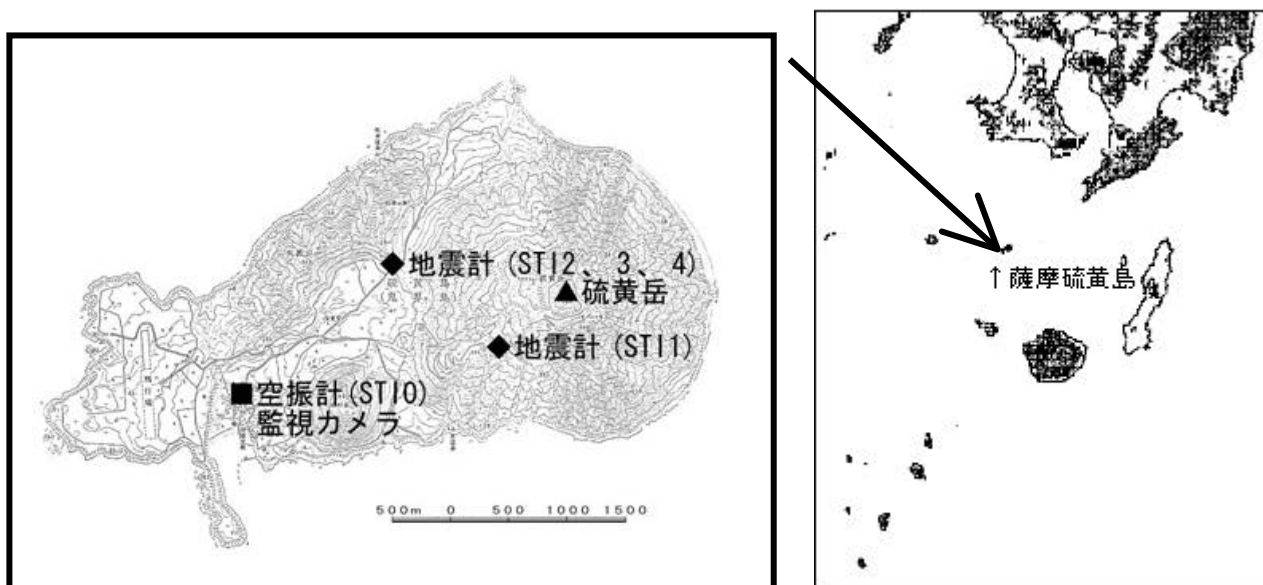


図 1 観測点位置図

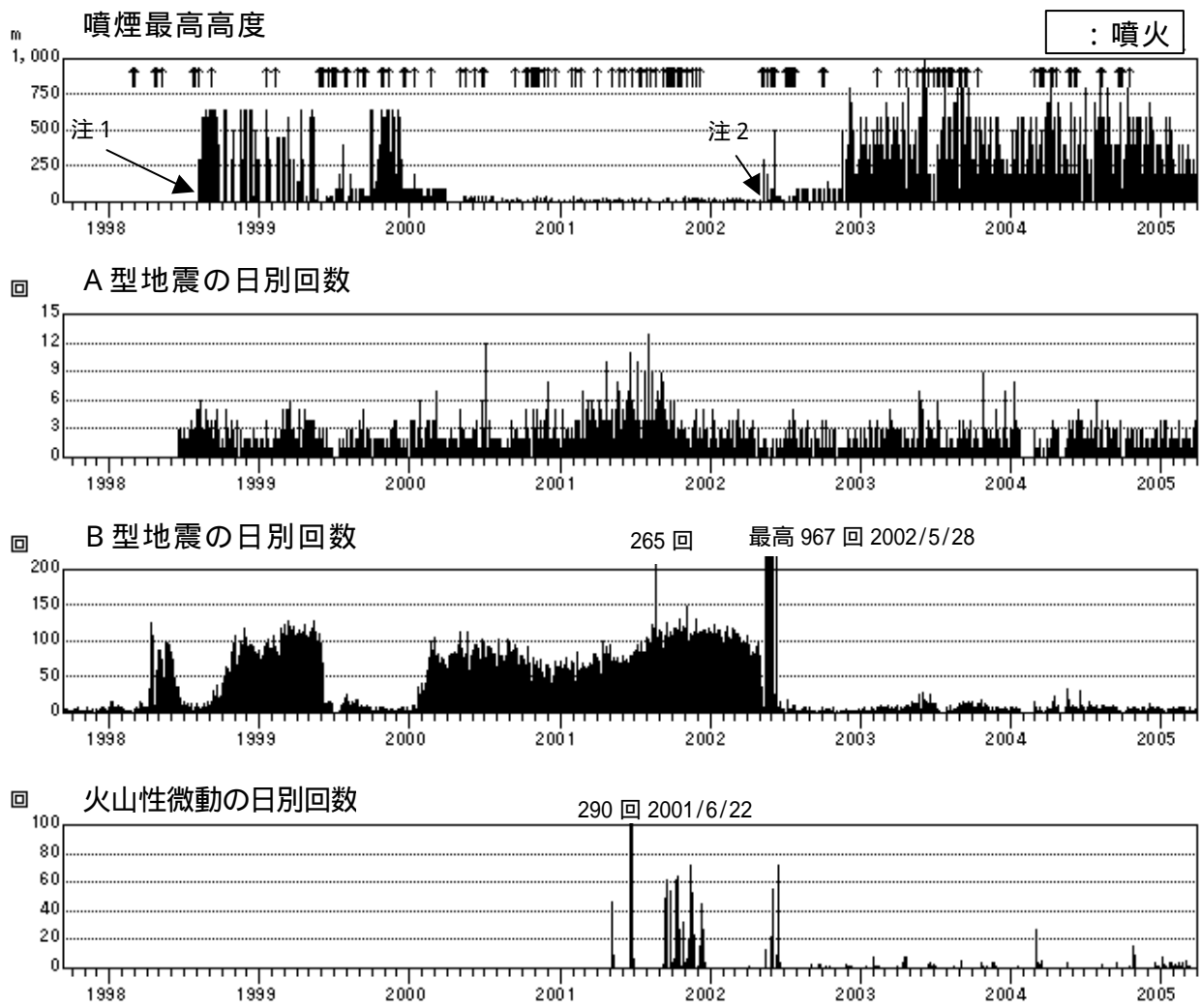


図2 火山活動経過図(1997年9月10日～2005年3月31日)

注1 1998年8月1日 三島村役場硫黄島出張所から気象庁へ通報開始

注2 2002年11月16日 気象庁が設置した監視カメラによる観測開始

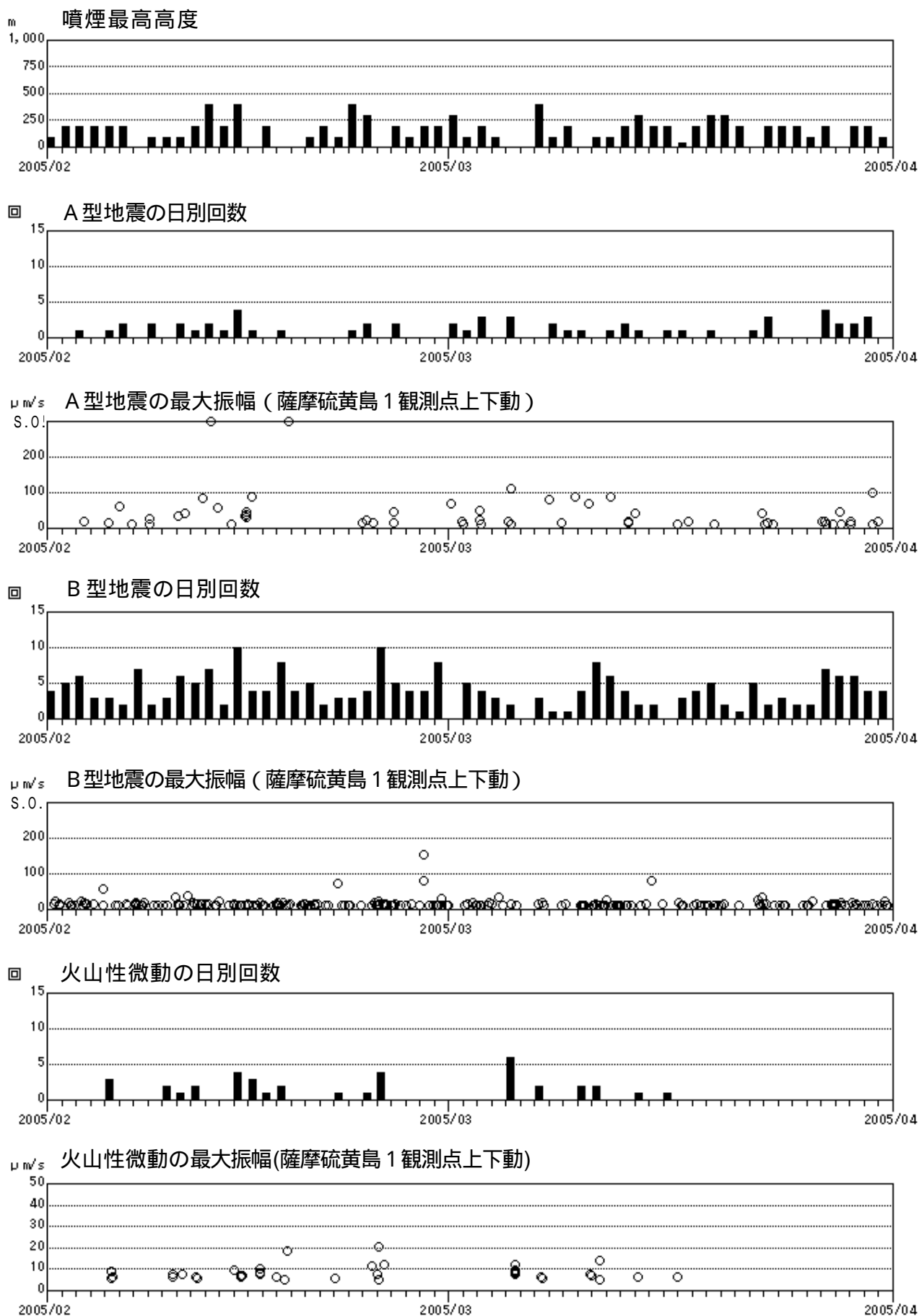


図3 火山活動経過図(2005年2月1日～3月31日)

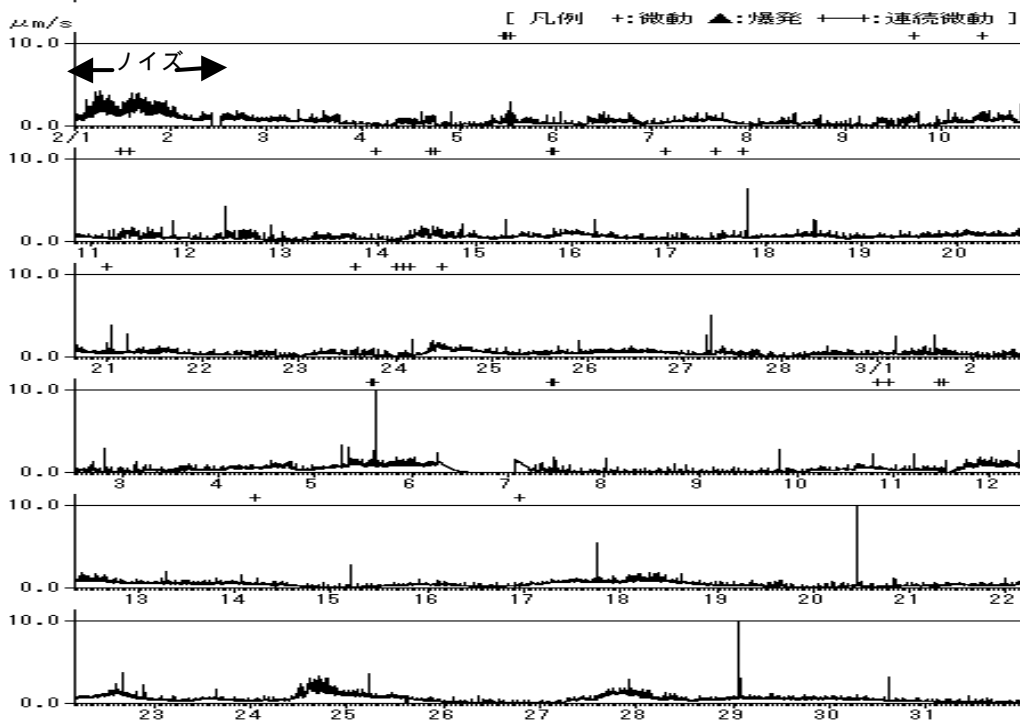


図4 1分間平均振幅の時間変化(薩摩硫黄島1観測点上下動)
(2005年2月1日~3月31日)



図5 上空からの撮影方向

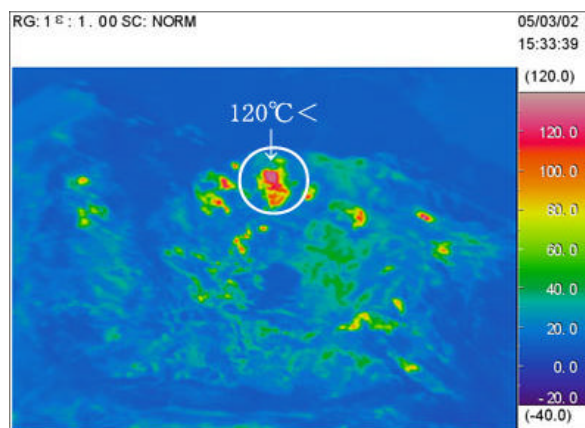
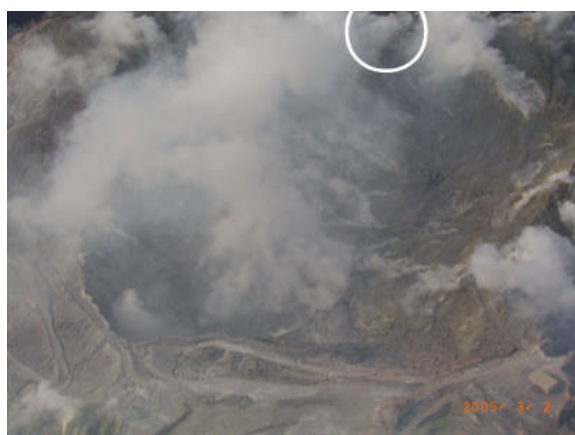


写真 1 硫黄岳火口内の状況 1 (硫黄岳の南側から撮影 左:可視 右:熱映像)
 円で示した部分が火口内で最も温度が高かった(120℃)

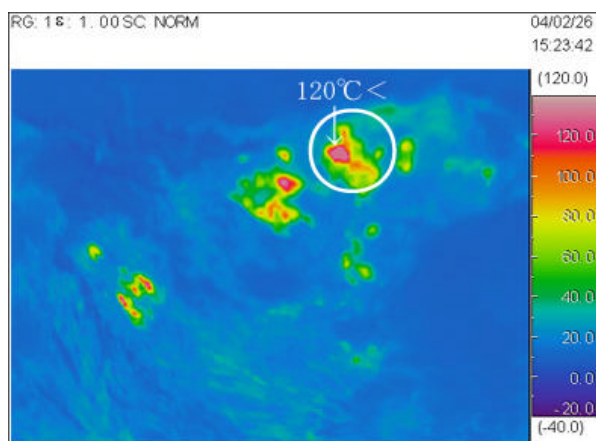


写真 2 2004 年 2 月 26 日の硫黄岳火口の状況

(硫黄岳の南側から撮影 左:可視 右:熱映像)

写真 1 と写真 2 の中の円で示した部分が火口内で最も温度が高く(120℃)、今回の観測と 2004 年 2 月 26 日を比較すると、熱異常の領域の広さに大きな変化はなかった。

(熱映像は赤外熱映像装置による。赤外熱映像装置は物体が放射する赤外線を感じて温度分布を測定する測器であり、熱源から離れた場所から測定することができる利点があるが、大気その他の影響で実際の熱源の温度よりも低く測定される場合がある)

図 6 上空からの観測結果